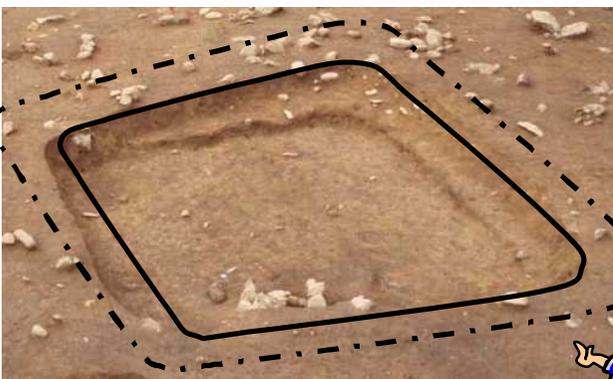


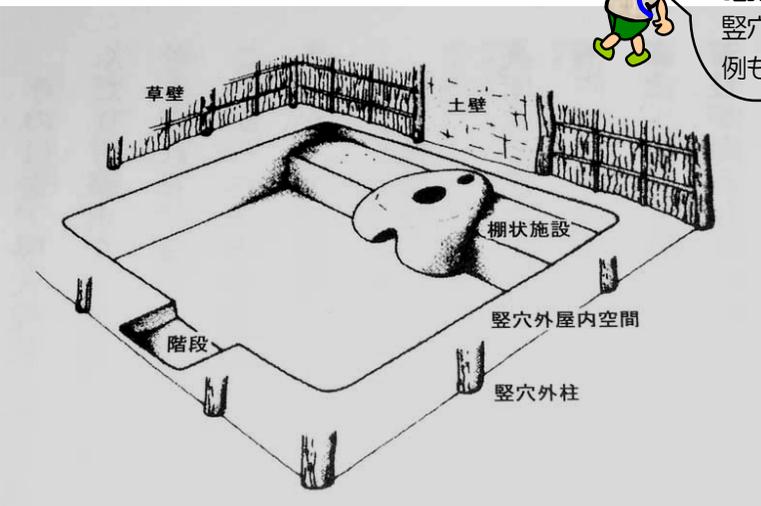
女夫石遺跡発掘調査速報

No.40

さーところで、発掘している平安時代の竪穴住居跡は当時、一体どんな様子だったのでしょか？「意外と狭いな？」「トイレはどこ？」「お風呂は？」「柱穴は？」いろいろな疑問があるのではないでしょか？今回はそんな疑問にせまってみましょう！ただし、頭がすっきりするとは限りませんよ！だって、分からないことは分からないのだから・・・。



柱穴（はしらあな）はないし、家族で住むには狭いと思うよね。でも窪んでいるところだけが家の中だと思わないほうがいいみたいだよ。下の絵のように、竪穴（たてあな）のくぼみの外に柱穴があったりして、家の空間はもっと広がったかもしれないんだよ。女夫石遺跡では確認できていないけど、実際に竪穴の外に柱穴が発掘された例もあるんだよ。



松原恵司「古代東国集落の諸相」『第9回企画展 古代の集落』

栃木県しもつけ風土記の丘資料館 転載

沢リ：ところで、竪穴住居って今の家と比べてとても小さいよね、こんな狭くちゃ、お風呂やトイレはどこにあったんだろうね？こんなに狭いと、トイレの匂いも大変だよ！

マキ：竪穴住居を見ると、柱穴や貯蔵穴はあるけど、トイレやお風呂の穴はなさそうだよ。竪穴住居の中にはなかったんだよ！

沢リ：そーいえば、平安京（へいあんきょう）では、道の側溝（そっこう）にウンチが流れていたみたいだし、川へ流しっぱなしだったのかもね。それか、家からちょっと離れたところに穴でも掘ってしたのか、した後に土をかけたのかな？

マキ：よく分かっていないみたいだけど、もしトイレが分かれば、当時の食生活が分かたりするからとても大切なんだってさ！

沢リ：お風呂は？

マキ：奈良時代の寺院にお風呂（たぶん蒸し風呂で今のサウナのようなもの）があったことが記録されているんだって、でも竪穴住居にはなかったみたいだよ。

沢リ：それにしても家族で生活するには狭いよね！

マキ：でも、くぼんでいるところだけが生活空間だと思わなければいいんだよ。竪穴の外側に屋根が付くわけだから、屋根の下の空間はもう少し広がるから、そんな場所に道具を収納したりしたんじゃないかな？

沢リ：だとすれば、竪穴の外にも床みたいな硬い部分があるかもしれないね。いろいろなことを想定しながら、発掘しないと大切な証拠を見落としてしまいそうだね。（つづく）

さーこれからの発掘は寒さとの戦いだ〜、みんな風邪をひかないようにね！ガンバロー!!!



紀伊風土記の丘の復元された竪穴住居跡



こんな感じの竪穴住居が女夫石遺跡にも建っていたのかな？緑釉陶器（りよくゆうとうき）が出ているくらいだからこの位立派だったかもね。住み心地はどうだったんだろうね？

